

## 大和高田市教育環境あり方検討委員会が開催されました

令和7年2月20日(木)に第2回教育環境あり方検討委員会が開催されました。

第2回では市民や利用者に向けたアンケート調査の実施結果や適正規模・適正配置に関する国の基準等について事務局より説明を行い、大和高田市の適正規模・適正配置について意見交換を行いました。



## 1. 話し合った内容や意見

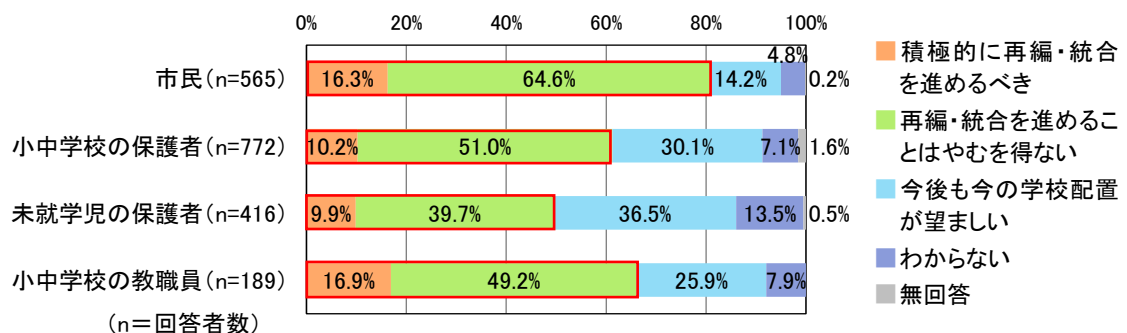
## ○議事

## &lt;アンケート調査結果について&gt;

令和6年12月に、18歳以上の市民 2,000 人及び学校園利用者を対象に、アンケート調査を実施しました。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

今後、一定規模以上の学校規模を確保するための小中学校の再編・統合の取組に対して、「多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから」などの理由で総論として再編・統合を進めることに賛成する意見が多い結果となりましたが、「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配」などといった回答も多くみられたことから、再編・統合について検討するうえで、教育環境や通学距離の変化などに対し十分に考慮し、進めていく必要があります。

【小学校・中学校の再編の取組みについて】※アンケート結果一部抜粋



|        | 調査対象                                         | 配布数            | 有効回答数<br>(有効回答率)     |
|--------|----------------------------------------------|----------------|----------------------|
| 市民     | 18歳以上の市民 2,000 人（無作為抽出）                      | 2,000 票        | 565 票 (28.4%)        |
| 学校園利用者 | 【児童】市内の小中学校に通う小学5,6年生                        | 【児童】 768 票     | 【児童】 276 票 (35.9%)   |
|        | 【生徒】市内の中学校に通う中学2年生                           | 【生徒】 400 票     | 【生徒】 125 票 (31.3%)   |
|        | 【小中学校】市内小中学校の児童生徒の保護者<br>小学校：2,5,6年生/中学校：2年生 | 【小中学校】 1,531 票 | 【小中学校】 772 票 (50.4%) |
|        | 【未就学児】市立幼稚園・こども園・保育所に通っているお子さまの保護者           | 【未就学児】 955 票   | 【未就学児】 416 票 (43.6%) |
| 教職員    | 【小中学校】市内小中学校の教職員                             | 【小中学校】 300 票   | 【小中学校】 189 票 (63.0%) |
|        | 【幼稚園等】市立幼稚園・こども園・保育所の幼稚園教諭・保育教諭・保育士          | 【幼稚園等】 255 票   | 【幼稚園等】 178 票 (69.8%) |

※市民アンケート：郵送配布・郵送回収（Web 併用）＜2024 年 12 月 2 日（月）～12 月 16 日（月）＞  
 利用者アンケート：直接配布・直接回収（Web 併用）。＜2024 年 12 月 13 日（金）～12 月 20 日（金）＞  
 詳細については別添の「大和高田市学校園の再編に関するアンケート調査結果報告書」をご確認ください。

### <適正規模・適正配置について>

国や大和高田市がめざす教育の方向性、法令等による適正規模・適正配置に関する考え方や学校規模によるメリット・デメリットについて事務局より説明を行い、各委員から本市の学校園の規模や配置を考えるうえで配慮すべき点や、小学校・中学校の望ましい規模、通学距離・通学時間についてご意見を頂きました。



#### 【国の定める学級編制の標準・通学距離の考え方】

|     | 1 学級あたりの人数 | 学級数                                   | 通学距離（通学時間）                |
|-----|------------|---------------------------------------|---------------------------|
| 小学校 | 35 人       | 12 学級以上 18 学級以下<br>（1 学年あたり 2 ～ 3 学級） | 4 k m 以内<br>（おおむね 1 時間以内） |
| 中学校 | 40 人       | 12 学級以上 18 学級以下<br>（1 学年あたり 4 ～ 6 学級） | 6 k m 以内<br>（おおむね 1 時間以内） |
| 幼稚園 | 35 人以下     | —                                     | —                         |

### <主な意見>

議事について、各委員から以下のような意見や質問がありました。（一部抜粋）

#### ●小中学校の規模について

- ・トラブルが起きたときに保護者がクラス替えを希望しても、1クラスではそれができない。担任の負担が増えすぎる。
- ・小学校は最低でも2から3クラス、中学校は3から5クラスではないか。
- ・新しい友達とつながるという部分でも単学級はなくしていきたい。
- ・今までの経験上、2学級、3学級、4学級あってもいいので、人数がいる中で子どもたちを育ててあげたい。同時に教員も、それだけの人数がいる中で切磋琢磨しながら、縦のつながりや横のつながりで子どもたちを見ることができる。

#### ●小中学校の通学距離・通学時間について

- ・通学路の危険性に関しても見直してもらいたい。
- ・特に今の時代、通学路については慎重に考える必要があり、適正としては 30 分までに収まる範囲で考えてもらいたい。

#### ●再編・統合の取組の進め方について

- ・再編のスタート時点からさらに 10 年先のことを考えなければいけない。統合したばかりなのにまた統合するということにならないようにしなければならない。
- ・校舎が老朽化している。新しい校舎を建てるのならそれに越したことはないが、統合した場合に元となる学校が使えるのかどうか。一番は子どもの安全である。
- ・土庫小学校の先生たちは1人ひとりにきめ細やかで丁寧な配慮が必要だと考えている。そういった地域があるところも、統廃合の際には考えなければいけない。

※詳細については別添の「第2回大和高田市教育環境あり方検討委員会議事概要」をご確認ください。

## 2. 今後のスケジュール

第3回は第2回で頂いた意見をもとに作成した小中学校の適正規模・適正配置の案および就学前教育のあり方について意見交換を行います。

